

「恵みによる選び—応答か拒否か」

・モーセがイスラエル民族を伴い、カナンに上ってゆく信仰を考える。

1. はじめに

・この話に至るストーリーの説明

・申命とは「重ねて命令する」の意

・モーセの4つの説教

・ガデシュ・バルネアでの不信仰のため、そこからゼレデ川まで38年かかった。

第一世代は死に次の世代の者となった。この第二世代はエジプトを知らない。

・この第二世代への説教であり内容はシナイ契約（十戒）の再確認

・申命記全体の前提となる「神」とは

・神は絶対に悪魔の創始者ではない。

I ペテ 1 : 15 ~ 16

・神は罪の誘惑はしない。むしろ罪を神の忍耐によって見のがしてこられた。

ロマ 11 : 23    ロマ 3 : 25

・神がどのようにして人を贖われるのか、どのような計画を立てられたかを信じること。

エペ 1 : 11

2. 本文

1) 自由意志・信仰

・ 19節    ~いのちと死をあなたの前に置く。あなたはいのちを選びなさい。（選択）

・ 20節    あなたの神、主を愛し、御声に聞き従い、主にすぎるためだ。（信仰）

・（1つにまとめれば）主にすぎるため、あなたはいのちを選びなさい。

・（教訓）人はパンだけで生きるのではない。人は主の口から出るすべてのもので生きる

申命 8 : 3

・        モーセがいかにイスラエル民族を愛していたかが分かる。

2) （転換）イエス・キリストへの信仰

・わたしにつまずかない者は幸いです。

マタ 11 : 6

・悔い改め、神を信じた人は神によって選ばれ、救いに定められている。

マコ 1 : 15    使徒 21 : 21    IIテサ 2 : 13

・それに対して不信仰にとどまり続けている者は、自分自身を永遠の命にふさわしくない者にしてしまった。

ヨハ 3 : 18    IIテサ 1 : 9

3. まとめ

・だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負い、

そしてわたしについて来なさい。

マタ 16 : 24